

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法		講義	
科 目 名	人間発達学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(2)	時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年		学期及び曜時限	前期	教室名	802		
担 当 教 員	上野 温子							
実務経験と その関連資格	<p>臨床心理士。 小1～高3までの児童養護施設・情緒障害児短期治療施設(現:児童心理治療施設)における被虐待児の直接処遇にて約5年勤務。情緒・発達・虐待等の問題を抱える家庭・本人へのケアを行う。その後、療育センターにて就学前の子供の心理判定員として発達検査(K式・WISC)を行いながら、作業療法士と協働。 現在は、ひきこもり・不登校で悩んでいる本人・ご家族のカウンセリング及び心理教育の実施(年間30～40人。約950ケース)。年齢は本人は小学生～保護者に至っては80代の高齢まで幅広い年齢層のカウンセリングをおこなう。 並行して中学校のスクールカウンセラーとして勤務。 龍谷大学 社会的孤立回復支援センター研究センターの嘱託研究員として、「間接的アセスメント」の研究を行っている。</p>							
《授業科目における学習内容》	<p>乳児期から老年期までの発達課題を例をもとに理解を深める。実際の事例を基に具体例を取り入れ、実際に知能検査・発達検査を使った実習を行い総合的な知識の定着を目指す。</p>							
《成績評価の方法と基準》	<p>定期試験 :70% 小テスト :30%(コロナの状況にてレポートに変更の場合もあり)</p>							
《使用教材(教科書)及び参考図書》	<p>標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 人間発達学 第2版 医学書院</p>							
《授業外における学習方法》	<p>標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 人間発達学 第2版を読む。レジュメにて復習をする。</p>							
《履修に当たっての留意点》	<p>予習として教科書を読んでおいてください。成人以降も発達していくのだという生涯発達の視点を持ち、様々な身体・認知等様々な側面から発達を理解できるようになってください。最後に質問紙を配ります。分からなかったこと・気になったことは質問して、解決していきましょう。</p>							
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容			
第1回	授業を通じての到達目標	生涯発達の観点を持ち、心の発達に関心を持つことができる		教科書・レジュメ	人間発達学 第2版 P3～P16			
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション						
第2回	授業を通じての到達目標	エリクソンなどの発達理論について説明することが説明できる。		教科書・レジュメ	人間発達学 第2版p244～345を全体的に目を通しておく。			
	各コマにおける授業予定	さまざまな発達理論						
第3回	授業を通じての到達目標	愛着の形成過程・情緒の発達について説明することが出来る		教科書・レジュメ	人間発達学 第2版 P255～P261、 P123～P130			
	各コマにおける授業予定	乳児期の発達① 愛着、情緒の発達						
第4回	授業を通じての到達目標	原始反射等がどういったものが具体的に説明することが出来る。		教科書・レジュメ	人間発達学 第2版 P23～p37、P80～P90、P154～P163、P169～P175、P178～P181			
	各コマにおける授業予定	乳児期の発達② 身体、認知機能の発達						
第5回	授業を通じての到達目標	情緒・人間関係が発達していく過程を理解することが出来る		教科書・レジュメ	人間発達学 第2版 P264～P283、P272～P282 ※小テストを行います。			
	各コマにおける授業予定	幼児期の発達① 情緒、人間関係の発達 小テスト①(～第4回までの内容)						

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	身体・認知機能の発達について具体的に説明できる。	教科書・レジュメ	人間発達学 第2版 P39～P43 P91～P101、P164～P167、P175～P177
	各コマにおける授業予定	幼児期の発達② 身体、認知機能の発達		
第7回	授業を通じての到達目標	言葉をどのように獲得していくのかを理解する。	教科書・レジュメ	人間発達学 第2版P188、～P211 P133～P136
	各コマにおける授業予定	幼児期の発達③ 言葉の発達		
第8回	授業を通じての到達目標	心身両面の発達を理解することが出来る。	教科書・レジュメ	人間発達学 第2版P285～P295、P101～P111
	各コマにおける授業予定	児童期～思春期の発達		
第9回	授業を通じての到達目標	自我の確立など、重要なポイントを説明することが出来る	教科書・レジュメ	人間発達学 第2版 P112～P117、P298～P332
	各コマにおける授業予定	青年期～成人期の発達		
第10回	授業を通じての到達目標	生涯発達の視点から理解できる。	教科書・レジュメ	人間発達学 第2版 P335～P345 ※小テストを行います
	各コマにおける授業予定	老年期の発達 小テスト②(第5回～第9回までの内容)		
第11回	授業を通じての到達目標	具体的にどのような支援が必要かなどを理解することができる。	教科書・レジュメ	人間発達学 第2版 P335～P345、別途資料配布
	各コマにおける授業予定	認知症の理解と支援		
第12回	授業を通じての到達目標	自閉症スペクトラム障害それに隣接する障害について説明ができる。	教科書・レジュメ	人間発達学 第2版 P242～P332、別途資料配布
	各コマにおける授業予定	さまざまな障害の理解と支援①		
第13回	授業を通じての到達目標	自閉症スペクトラム障害以外の障害について説明できる。	教科書・レジュメ	人間発達学 第2版 P242～P332、別途資料配布
	各コマにおける授業予定	さまざまな障害の理解と支援②		
第14回	授業を通じての到達目標	知能検査について理解し、説明できる。。	教科書・レジュメ	別途、資料配布 ※小テストを行います
	各コマにおける授業予定	知能検査、認知機能検査 小テスト③(第10回～第13回の内容)		
第15回	授業を通じての到達目標	人間発達学の授業を通して重要なポイントが説明できる。	教科書・レジュメ	今までのレジュメ
	各コマにおける授業予定	まとめ		